

## 店舗への集客率をアップする 魅力ある野立て看板を提案 責任をもって、保守点検も実施！



代表取締役

川端 妃都美さん  
Hitomi Kawabata

株式会社スカイネット  
浜松市東区流通元町13-6  
Tel.053-545-7646



### 立地条件をカバーする有力な広告ツール

奥まった場所にあったり、街路樹や歩道橋等で隠れてしまい立地がわかりづらい店舗でも、より効率的に導いてくれるのが、道路沿いなどに設置する「野立て看板」だ。確実な集客が見込める手法として、街にはさまざまな野立て看板が設置されている。野立てに限らず、看板は、使い次第で店舗の立地条件ですらカバーできる有力な広告ツールだといえるだろう。

株式会社スカイネットは、こうした野立て看板（ロードサイン）を主軸として、クライアント様の集客率をアップする魅力的な看板を提案している企業だ。設立6年目を迎えた現在、浜松本社と沼津支店の2つの拠点で展開。川端妃都美さんと曾根原司さんの二人代表で会社を運営している。

「看板は設置して終わりではありません」とは川端代表取締役。看板周囲の草を刈り取ったり、看板そのものが劣化していないか、きれいな状態で保たれているかを定期的に見回る等、契約期間中は責任をもって保全していくのがスカイネットのつとめだと語ってくれた。

特に台風の後には、破損していないかどうかを確認するために入念に見回りを行っているとのこと。「看板は条例によって安全点検報告を行政に届け出る必要がありますので、スカイネットは看板の制作会社という意識よりも、責任をもって看板を管理していく会社という意識の方が強いですね」と川端さん。また、看板の落下によるニュースが流れると、企業からの問合せも寄せられるという。



「きれいな看板も時間の経過と共に老朽化してきます。外見からはわからなくても、よく見るとひび割れや腐食している箇所から危険な状態になっている場合もありますので、お気軽にご相談ください」。

### 東海地方を中心に東北や北関東もエリア

川端さんは掛川出身。営業から意匠の打合せ、施工手配、保険の手続きから行政への申請まで、一連の業務を担当し、多忙な日々をおくるパワー溢れる女性だ。起業する前は同業種で営業経験を積み、その会社の事業を承継する形で株式会社スカイネットを立ち上げた。そのため長いお付き合いのお客様も多く、静岡県や愛知県を中心とした東海エリアだけでなく、岩手、宮城、福島、栃木、神奈川等、東北や北関東にも管理看板を保有。スカイネット立ち上げ後も新規顧客を着実に獲得し、実績を伸ばしている。

お客様のご要望をしっかりと受け止め、効果的な看板づくりをするのが私たちスカイネットの使命だと熱く語る川端さん。限られた予算の中で、もっとも効果的な場所と意匠で、お客様の売上アップに貢献していくことが喜びであると笑顔で語ってくれた。



◀ぱっと目を引くデザイン。  
社屋や店舗の敷地内看板は  
何だろうと思わせるデザインも  
効果的です。



できるだけ簡潔に ▶  
ひと目でわかる  
デザインが効果的

## 調査や提案力が高い評価を獲得 再生可能エネルギー事業の推進に 町田設計の技術とノウハウが貢献



代表取締役

町田 米男さん

Yoneo Machida

株式会社町田設計

浜松市浜北区尾野2626-4

Tel.053-589-8148

### 土地設計 測量・環境・景観の調査・企画・立案

町田設計は平成2年に創業以来、浜松市の公共事業をはじめ、工場プラントや民間施設の建設プランに数多く携わってきた土地設計事務所だ。土木造成や都市開発、環境整備、景観計画に関する調査・企画・立案をはじめ、地質調査や交通量緩和策等、多岐にわたる調査・提案力が高く評価されている。

天竜区二俣町にある株式会社ROKIイノベーションセンターをはじめ、出店が話題を集めたコストコ、養鰻池跡地を活用した大規模太陽光発電所(メガソーラー)なども町田設計が携わったプロジェクトだ。

中でもコストコは、交通渋滞の面で周辺地域の方々からの注目が高かった案件。さらに大雨が降ると水が溜まる場所でもあり、多くの課題を抱えていた。そのためコストコ本社と建築設計事務所とタイアップして役所と協議を重ね、車の出入りがスムーズとなる動線や排水の方法などをひとつひとつクリア。住民説明会も実施してきた。

オープン当初は渋滞も見られたが、現在ではひどい交通渋滞も懸念されることなく、会員数も浜松店が全国1位を記録し、コストコに



も大変喜ばれているとのこと。「企業も地域の方々も、そして浜松市もそれぞれがメリットを享受されているのが嬉しいです。この仕事に関わることができて光栄に思います」と、代表取締役の町田米男氏は笑顔で語ってくれた。

「今後は再生可能エネルギー社会に向けて風力発電の設置も増えていくことでしょう」と町田社長。風力発電は浜松市としても推奨している事業であり、候補地が都田地区をはじめとして数多くあがっているとのこと。用地の測量や、風力発電の設備機器を運ぶための道路の設計等、風力発電を設置するために、町田設計の蓄積された技術力が多いに役立てられていくことだろう。

さらに町田設計では「新しい仕事の仕組みづくり」をテーマとした経営革新計画にもチャレンジ中。承認されれば、スタッフ7名のモチベーションもさらに向上していくに違いない。

また、町田氏は本業の傍ら、東海工業専門学校の浜松支部長としても活躍。土木を勉強している若者を総会に招き、地域の企業やOBとの架け橋となっている。さらに浜北区役所まちづくり推進課で運営されている「遠州山辺の道の会」の会長としても活躍。地域力の向上に尽力しているエネルギーシユな人物だ。